

# 釧路地域民有林の効率的作業への導きと列状間伐の更なる推進

～繰り返し利用可能な堅固な森林作業道作設による低コスト作業の実現～  
根釧西部森林管理署

## 課題・背景

- 1 採算性を向上し、伐り捨て間伐から利用間伐への移行
- 2 伐倒作業における林業労働災害の撲滅解決のために、列状間伐が有効、高性能林業機械との組み合わせた作業システム、効率的な路網などを含めた、列状間伐による作業仕組みの普及が課題

## 理想とする目標

国有林の事業を請負う林業事業体全ての森林作業道作設技術の向上させ、**民有林事業の低コスト作業の促進を図る。**

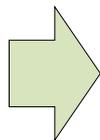


## 平成27年度の取組状況

### 目標に向けて

次回の間伐方法、作業の安全性等を念頭に伐列方向を決定する力を身につける。請負契約者を集めた現地検討会等を開催し森林作業道作設技術の更なるの向上を図る。

事業体の  
スキルアップが必要



### 下記を踏まえた現地検討会を開催

- ・ 将来を見据えた路網線形
- ・ 堅固で安全な森林作業道の作設
- ・ 高性能林業機械による作業システム
- ・ 安全で効率的な列状間伐の推進



### 事業体のスキルアップに向けて

スキルアップに向けて、事業実施説明会において基本的な事業に係わる注意事項等の他に等高線植栽箇所の伐採列の選定や路網作設の考え方などについて説明し、路網作設の考え方については理解されています。

### 森林作業道の作設事例の設定

現地検討会の開催に向けて国有林事業の中で、「自慢の現場」として設定し、7社がモデル的な事例について取り組みました。



### 事業体の考え方の把握

①路網の考え方 ②既設路網の取り扱い ③湧水の対策 ④作業システム（仕組み） ⑤現地発生材の利用 ⑥会社独自の工夫 ⑦雨天時の対応等について、対応状況の聞き取りを行いました。結果、現地検討会に参加した各社オペレーターや現場代理人からは「他社の技術を見る機会を与えられたことで、学ぶことが出来た」等感想がありました。

### 今後に向けて

様々な作業種や伐採方法等、繰返す施業に繰返し使える路網づくりが低コストに繋がることを現地検討会の開催等により普及を目指す。